

〈資料〉

経済学の成績と学生の諸条件・授業評価の関係

岩 田 年 浩

はじめに

経済学の成績を決定づける要因は何なのかを明らかにするために、以下の調査を行った。調査票は末尾の(資料)であり、実施は1996年11月28日(大阪経済法科大学: OELにおける「マクロ経済学」と12月3日(関西大学高槻キャンパス総合情報学部: KUTにおける「経済学」)に行った。ここでは、筆者が授業で行った内容からの小テストを中心にしたものであり、このテスト内容が適切なものかどうかの評価や調査項目の内容についての考え方の相違もあると思われる。しかし、今日の大学をめぐるのは教員が自分の授業内容がどの程度理解されているのかについて自らチェックすべき状況になっていることを思い、一つの資料として検討の契機になればと、本誌に掲載させて頂くことにした。こうした意図を了解頂きたいと思う。

なお、調査票にはあるが、本誌でふれていない項目は有意さを認めなかったものである。また、同じ内容の授業とテストとは言え、数量化できない条件もあり、2つの大学を単純に、また表面的に比較することは適切ではないこともお断りしておく。

I. 学生の入学前の諸条件と成績

性別、学部別、入試の一般・推薦別、高卒までに住んでいた都市の大きさ別、家庭の年収別、通学が自宅か下宿かの別、これらはⅡ、Ⅲで見る学生自分自身の現在の勉学努力以前の基礎的な条件である。これらと成績の相関は以下のようであった。

	OEL		KUT	
女子	29人	平均51.72点	50人	平均73.2点
男子	145人	53.65点	79人	76.45
法学部所属	31人	54.19点	知識系（理系）	25人 78.41点
経済学部所属	143人	53.14点	組織系（社会科学系）	42人 76.62点
			メディア系	60人 74.00点
一般人試入学者	117人	54.35点	100人	76.81点
推薦入試入学者	55人	50.54点	29人	69.65点
大都市出身者	45人	56.11点	26人	80.76点
中都市出身者	89人	52.83点	85人	73.88点
農山漁村出身者	39人	52.30点	10人	74.00点
留学生	1人	60.00点	7人	81.85点
家庭の年収				
1300万円以上	11人	66.00点	20人	82.00点
1299～1000万円	23人	53.04点	27人	71.11点
999～800万円	32人	50.62点	27人	77.03点
799～600万円	56人	52.50点	29人	80.68点
500万円以下	33人	58.18点	10人	72.00点
通学				
下宿通い	88人	52.04点	44人	78.18点
自宅通い	82人	53.41点	82人	76.85点

①男性の方が女性よりも経済学の成績は高い。（この点は1993年に調査した大阪教育大学での結果と同じである）

経済学の成績と学生の諸条件・授業評価の関係

- ②入試の難易度の高い学部や数学などを科目選択する学生の方が成績が高い。
- ③一般人試での入学者の方が推薦入試の入学者より成績が高い。(ただし、指定校推薦入試による入学者はこの限りではない)
- ④大都市出身者の方が成績が高い。(KUT及び前記大阪教育大学に共通する)
- ⑤外国人留学生の成績は相対的に高い。
- ⑥家庭の年収が最も高い層と低いまたは最も低い層の成績が良い。(この点ではOELと大阪教育大学に共通するが、KUTではそれほど明瞭ではなかった)
- ⑦通学別については、明らかな相関はなかった。

II. 学生の授業評価と成績の関係

学生による授業の評価については、それによって教育への注力や効率的な授業運営さらには、大学の市場経済化をめざす肯定的見解と、それに対して(Ⅲで見るように)出席率の低い学生は評価が可能なのかとする否定的見解がある。しかし、戦後、日本の大学で特に文系教育において熱心さに欠ける点があったのではないかという配慮はぜひ必要であろう。

①明らかな結果は、「授業から得た価値が高い」と認める者ほど、また「教員が熱心に授業している」と認める者ほど成績が高いということであった。ほかここでは割愛したが「質問する意欲」についてもほぼ同様の結果であった。

この授業から得た価値について

	OEL		KUT	
非常に高い	17人	平均 55.71点	12人	平均 80.00点
高い	43人	53.75点	58人	78.17点
普通	65人	54.76点	44人	75.45点
低い	43人	51.62点	14人	68.57点
非常に低い	17人	48.23点	0人	

教員の熱心さについて

	OEL		KUT	
非常に高い	22人	平均 54.54点	59人	平均 76.94点
高い	87人	54.94点	55人	76.36点
普通	58人	51.91点	14人	68.57点
低い	6人	33.32点	0人	
非常に低い	0人		0人	

ここから学生が学ぶ内容の吟味とその内容を伝える意欲のほどが教育効果を上げるといってもよからう。

②学生が教室で黒板の正面前に席を取る者ほど成績が高かった。逆に後方および両窓側に座る者の成績は良くなかった（以下OEL）。

黒板			
56.66 点	55.88 点	71.76 点	57.77 点
61.00 点	47.85 点	47.20 点	43.33 点

③大学への満足度と成績の相関は高い（以下OEL）

大学への満足度は	非常に高い	2人	70.00点
	高い	18人	58.66点
	普通	80人	55.00点

経済学の成績と学生の諸条件・授業評価の関係

低い	58人	51.39点
非常に低い	15人	52.00点

以上から、大学に入学して満足度の高い者ほど落ちついて勉学に励むことができることが分かった。大学の基礎的条件の重要さは成績にも大きな影響を与えよう。

Ⅲ 成績と学生生活の関係

経済学の成績が学生の日常生活とどのような関係にあるかについて、有意な点を見ると次のようなことがわかった。

①授業への出席率との相関は高い

つまり出席率の高い学生ほど、経済学の得点は高かった。当然とは言え、出席しないで“常識”で答案を書いてもいい結果にならないからである。

	OEL	KUT
出席率100%	8人 平均57.50点	71人 平均78.30点
99~80%	44人 55.45点	42人 71.90点
79~60%	80人 53.75点	9人 82.22点
59~40%	31人 52.90点	4人 70.00点
39%以下	9人 37.77点	2人 50.00点

なお、KUTでは相対的にOELよりも高かったが、これは実習授業が多く、半理系的学部の特徴の表れである。しかし、出席しなければより高い得点が得られない点がOELでの一つの特徴と言えよう。

②勉強時間の長さとの相関は低い

学生が授業以外での知的時間を持たなくなって久しいが、この特徴は2つの大学・学部に通じた点である。ここからは放課後の勉強時間と得点

の間には、わずかな相関しかないと分かる。

	OEL	KUT
勉強時間		
週12時間以上	5人 平均58.00点	2人 平均80.00点
11～7時間	7人 51.42点	9人 75.55点
6～3時間	42人 59.61点	47人 77.02点
2～1時間	67人 54.02点	59人 73.68点
0時間	51人 49.01点	13人 71.53点

③その他の学生生活の特徴

以下の点については得点との相関は無かったが、参考までに紹介しておこう。

1) 読む本は漫画と現代小説・推理小説が多数

②とも関係して、読む本は専門書や入門的勉強の本はほとんど読まれず、漫画や現代小説・推理小説の合計が60～70%とほとんどを占めていることが分かった。

	OEL	KUT
よく読む本		
専門書	13人	2人
入門的勉強の本	20人	16人
各国の国民文学	4人	3人
コンピュータ関係の本	12人	17人
現代小説・推理小説	54人	46人
	71.4%	66.6%
漫画	71人	40人

2) さらにギャンブルをする学生の比率は以下のように、1/3～1/4の学生が「ギャンブルをする」と答えた。

	OEL	KUT
ギャンブルをする	60人	33人
しない	113人	95人

経済学の成績と学生の諸条件・授業評価の関係

以上から、目立つ項目について取り上げてみると、OELにおける出席率80%以上、教員の熱心さを「強く」または「非常に強く」感じる者、学習していく意欲を「強く」または「非常に強く」もつ者で、大学への満足度も「強い」または「非常に強い」者、という4つの条件を満たす15名の平均点は63.33点と高かった。なお、これらの学生中14名は「ギャンブルをしない」と答えている。

他、テキストは拙著『入門経済学講義—資料編—』と『経済学教育論序説』の2つを用いたが、特に後者についてはあまり好まれなかったことが分かった。

以上からOELの「マクロ経済学」の小テストについての回帰式は以下のようになった。

$$Y = 20.29679 + 0.041637 X_{13} + 1.21175 X_{14} + 1.931397 X_{15} + 3.868514 X_{16} \\ + 1.408864 X_{17} - 0.25396 X_{18} + 1.748899 X_{19} + 2.46714 X_{20}$$

$$R^2 = 0.72834, \text{ 標本数 } 174$$

(資料)：学生による授業評価調査票

(無記名です)

- X1 1=男、0=女
- X2 年齢
- X3 モデル 1=経済学部(OEL)、2=法学部(OEL) 8=メディア(KUT)、
9=組織(KUT)、10=知識(KUT)
- X4 学年
- X5 入試 1=推薦、0=一般
- X6 入試の動機 1=経済・社会そのものへの関心
2=就職に役立つ
3=他の動機
4=不本意だが入学した
- X7 大学入学まですんでいた所は
1=大都市、2=中都市、3=農山漁村、4=外国

X8 家庭の収入

1=1300万円以上、2=1299~1000万円、3=999~800万円
4=799~600万円、5=500万円以下

X9 1=下宿、0=自宅通い

X10 大学への満足度 5=非常に高い、4=高い、3=普通
2=低い、1=非常に低い

X11 大教室の講義への満足度 5、4、3、2、1

X12 ゼミナールへの満足度 5、4、3、2、1

X13 この講義で得た価値 5、4、3、2、1

X14 教員の熱心さ 5、4、3、2、1

X15 教員の表現の豊かさ 5、4、3、2、1

X16 授業を受けて学習意欲がどの程度高まったか
5、4、3、2、1

X17 質問（カードでの質問を含む）意欲はどの程度高まったか
5、4、3、2、1

X18 テキストはどの程度役に立ったか
5、4、3、2、1

X19 あなたの一週間の勉強時間は
5=12時間以上、4=11~7時間、3=6~3時間
2=2~1時間、1=0時間

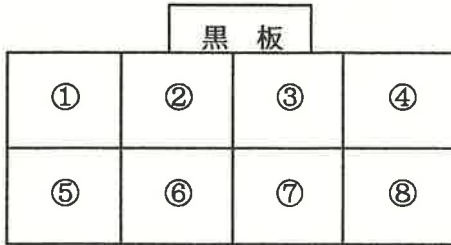
X20 あなたのこの授業への出席率は
5=100%、4=99~80%、3=79~60%
2=59~40%、1=39%以下

X21 よく読む本
5=専門書、4=入門的な勉強の本、3=各国の国民文学
2=コンピュータ関係、1=推理小説や現代小説、0=漫画など

X22 ギャンブルをしますか 1=する、0=しない

経済学の成績と学生の諸条件・授業評価の関係

X23 この授業では主にどの位置に座りますか（下の図の番号で答えなさい）



X24 次の間に答えなさい

A GNPは何を合計したものか

1=利潤、2=賃金、3=所得、4=売上、5=輸出額

B 消費性向をCとすると、投資乗数はどのように示されるか

1=C、2=1/1-C、3=C-1、4=C+1、5=C²

C バブル経済のきっかけは何か

1=豊作、2=ソ連の崩壊、3=株価の暴騰

4=利子率の低さ、5=オイル・ショック

D 円高になると日本からの輸出価格はどうなるか

1=上昇する、2=変わらない、3=低下する

E 再販価格とは何に関するものか

1=生産価格、2=卸売価格、3=小売価格

4=米価、5=輸入価格

Y 合計 (X24の得点) 点

Answer Sheet

X 1	1, 0
X 2	
X 3	1, 2, 3, 8, 9, 10
X 4	
X 5	1, 0
X 6	1, 2, 3, 4
X 7	1, 2, 3, 4
X 8	1, 2, 3, 4, 5
X 9	1, 0
X10	5, 4, 3, 2, 1
X11	5, 4, 3, 2, 1
X12	5, 4, 3, 2, 1
X13	5, 4, 3, 2, 1
X14	5, 4, 3, 2, 1
X15	5, 4, 3, 2, 1
X16	5, 4, 3, 2, 1
X17	5, 4, 3, 2, 1
X18	5, 4, 3, 2, 1
X19	5, 4, 3, 2, 1
X20	5, 4, 3, 2, 1
X21	5, 4, 3, 2, 1
X22	1, 0
X23	①、②、③、④、⑤、⑥、⑦、⑧